

『新型コロナ対策など令和2年度予算。』

県税の使い方を考える』

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会では3月、令和2年度予算審議が行われ、昨秋約700億円の財源不足が見込まれ、県財政は例年以上に厳しい状況にありましたが、減収補てん債(地方債)の発行や税制調整基金の取り崩しなどで予算確保がなされました。

県議会では3月、令和2年度予算審議が行われ、昨秋約700億円の財源不足が見込まれ、県財政は例年以上に厳しい状況にありましたが、減収補てん債(地方債)の発行や税制調整基金の取り崩しなどで予算確保がなされました。



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ/横浜市出身/サラリーマンを約20年経験/参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験/麻生区在住

○新型コロナウイルス感染症対策
○クルーズ船横浜入港

県では急ぎよ36億円、県は昨年度、クルーズ船感染者移送費として1億円超、患者入院費等に2千7百万円など計1億8千万を執行しました。県専用ダイヤル運営費や防護服調達など、県が担当し負担すべき費用も確かにあります。しかし、緊急時とはいえ「移送費」や「入院費」は国に全額負担を求めるべきと訴えています。

○県民に密着した事業を

知事は「県財政が厳し

い中、未病改善や気候変動への対応など重要施策を反映できた」としています。しかし、施策の費用対効果は曖昧さがあり、効果をより明確にするべきです。私は、子育て支援や地域課題など生活密着事業を優先すべきと提案し続けています。

県LINE 公式アカウント

新型コロナ対策
パーソナルサポート(行政)



体調や年齢、持病など状態を入力いただくとあなたの状態にあった情報を提供致します。詳細は神奈川県HPで。



石川ひろのり

事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
044-455-6611
044-455-6614
<http://www.hiro-ishikawa.jp>